

受賞技術	実発電と実負荷状況に応じた発電共通制御システム
------	-------------------------

技術開発者	市川 博則
-------	-------



受賞にあたって

この度は、栄誉ある国土技術開発賞「入賞」を賜り、誠に光栄に存じます。  
本技術は、多元化された発電設備の構築と電力供給エリアの自動制御により業務継続能力の向上と地域の防災拠点として、BCPと都市レジリエンスに寄与するシステムです。本システムの構築にあたり、施設内の複数の発電設備や様々な負荷設備と連携するために、関係者の皆さまにご指導頂きながら検討を実施してまいりました。本プロジェクトを通して御指導、御協力を頂きました関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。  
今後の社会インフラシステムのBCPやレジリエンスの構築において、本技術がその検討の一助となれば幸いです。

受賞後の動き

近年、カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーや蓄電池などの分散型電源の導入が進んでおり、多元化された電源の一つとして災害時に活用する事例が増えています。電源の構成は益々複雑になっており、また、災害時の電源の供給範囲も広範囲に変化していくと思われます。このような社会の変化に向き合い、今後も本技術開発の経験を活かして災害に強い安全・安心なインフラシステムを構築し、社会に貢献していく所存です。